

## かわさきの里山は今！

川崎のみどりを守り、育てる活動を始めませんか？



川崎市の北西部の緑地は、かつては里山と呼ばれ、雑木を薪や炭の材料にしたり、落ち葉を堆肥にするなど定期的な管理が行われており、手入れの行き届いた里山では、様々な動植物が生息する豊かな環境が保たれていました。しかし、昭和30年代以降、都市化の進展や化石燃料の普及、化学肥料の登場によりその役割が失われ、里山は減少の一途をたどりました。また、手入れが行われなくなった里山では、動植物の種類の減少など、多様な環境資源が失われてきました。こうした状況を踏まえ、市では、川崎市緑の基本計画に基づき、「特別緑地保全地区」や「緑の保全地域」の指定拡大の施策を講じることで緑地を残し、市民と行政のパートナーシップによる保全活動を進めています。

そこで、川崎市公園緑地協会では、地域の緑地を知り、実際に作業を体験しながら保全整備を進める講座を実施します。「1度、体験してみたい」「日頃、忙しいので単発でお手伝いがしたい」「思いっきり体を動かしたい」「団体で活動しているが体験を積み重ね、腕を磨きたい」等の声を受け、気軽に単発で参加できる講座も準備しました。新しい季節に、新しい仲間と、川崎のみどりを守り、育てる活動を始めませんか。詳しくは2面をご覧ください。



かわさき緑のイメージキャラクター  
緑の妖精 グリンピー

### 目次

かわさきの里山は今！	1
協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

## 参加者募集 .....

### ◆ 単発で参加出来る「さとやま研修会」

第1回	4月11日(土)	古沢都古緑地	春の竹林整備孟宗編	補助日	4/18(土)
第2回	5月10日(日)	生田ばら苑	里山整備(下草刈り)	補助日	5/12(火)
第3回	6月2日(火)	栗木山王山緑地	春の竹林整備真竹編	補助日	6/12(金)
第4回	9月26日(土)	生田ばら苑	里山整備(枝打ち等)	補助日	9/29(火)
第5回	10月18日(日)	生田寒谷緑地	シノダケ刈り	補助日	10/20(火)
第6回	11月15日(日)	生田ばら苑	里山整備(間伐等)	補助日	11/17(火)

各回とも9時半～12時 雨天延期 詳細は申込者に通知します。

対象 15歳以上の関心のある市民、各30人。

申込み方法 往復はがきに〒・住所・氏名・電話番号・希望の日程(複数回同時申し込み可)を明記し、「さとやま研修会」係まで送付してください。実施前月の1日から3日前まで先着順で受付けます。

### ◆ 基本からじっくり学ぶ「里山ボランティア育成講座」

日時 5月30日 6月27日 9月12日 10月17日 11月14日 12月12日 全6回

各回とも土曜日 9時半～15時 雨天実施

会場 高石特別緑地保全地区、葉積緑地、梨子ノ木特別緑地保全地区等、市内緑地、里山

対象 15歳以上の関心のある市民30人。6回通して参加ください。

申込み方法 往復はがきに〒・住所・氏名・電話番号・年齢・志望の動機を明記し、5月8日(金)必着で「里山講座」係まで送付してください。定員を超えた場合は志望動機等により選考。満たない場合は引き続き電話にて受付けます。

## 実施報告 .....

### ◆ 「里山ボランティア育成講座」修了しました。

昨年6月から12月にかけて様々な緑地を会場に全6回、開催されました。川崎のみどりの基本計画の学習を始め、鎌や鋸を使って実際の作業体験を積み重ねました。講座では、川崎の里山に関心を持ち、実際に活動を始める人材の育成を目標に38名の修了生を輩出しました。

### ◆ 「花と緑のまちづくり講座」終了しました。

昨年9月から開催された全6回の講座が終了しました。緑化推進リーダーを目指し、グループ討議やデザイン実習を行い、「花と緑のまちづくりを提案」し、23名の修了生が誕生しました。今後は講座での学習、体験を活かし、地域の団体の中心になって活躍することでしょう。

## お知らせ ! .....

### ◆ チャレボラ2015「汗して守ろう、かわさきの緑」実施場所募集します。

今年も、社会福祉協議会や市民活動センターと共に、夏休み期間を活用し、次世代を担うこどもたちに緑のボランティア体験学習の場を提供します。日程は7月下旬から8月中旬。対象は小学生から高校生。協力いただける団体は3月中にご連絡ください。調整のうえお願いいたします。

## 菅生ヶ丘緑地管理運営協議会 (2009年設立)

**活動場所** 菅生ヶ丘特別緑地保全地区 (宮前区菅生ヶ丘 2109-2)  
**交通案内** JR南武線「登戸駅」より  
市営バス鷲ヶ峰営業所前行「菅生3丁目」バス停前

平成15年5月、防衛庁技術研究所に呼ばれ、敷地の一部を民間に払い下げるとの連絡がありました。早速地元で相談し、当敷地を地域に開放してもらうよう川崎市に要請したところ、地元5自治会での自主管理を前提に川崎市に取得していただきました。恒久的に緑を保全するよう市の指導のもと「保全管理計画」が作成され、団体を立ち上げました。一部には、まったくの手つかずの植



生が残り、貴重な野草の群落などを持っていますし、背後に広大な防衛庁の敷地を有することから貴重な生き物も期待できます。

毎月第1土曜日(1月、5月は第2)に地元ボランティア十数名が集まり、草刈りや植樹した樹木の手入れをおこなったり、溝口柿生線のバス通りに面したゾーンには歩道に沿って開墾花壇が色を添えています。また、年々減少傾向の季節行事「どんどこ焼き」を今年も盛大に行いました。地元のこどもたちとともに、植栽5年目のクヌギやコナラがのびのび育つと30年後には立派な雑木林ができると考えております。  
(一杉不二男)



## 平間公園を守る会 (花壇グループ) (2013年登録)

**活動場所** 平間公園 (中原区上平間 1298)  
**交通案内** JR南武線「平間駅」より 徒歩10分

「平間公園には、姉妹都市クロアチア共和国の「リエカ市」から贈られた記念彫刻像と、周りにトチノキが植えられた『リエカの森』があり、公園全体には、樺・銀杏・ならのき・桜・藤など、多くの木々が植えられています。以前、公園内の整備をした際、ハーブとオリーブが植樹され、バス道路側のユリノキの周りには、



花壇が10ヶ所作られ、ハーブ・アイビー類が植えられました。しかし、世話をする人がいなく、花壇の草たちは枯れ、ハーブ類は引き抜かれ散々でした。

そこで「花と緑のまちづくり講座」の受講生が発起人となり、平成24年ころからバス道路側の花壇の世話を始め

ました。地域の仲間にも声をかけ、種からの花植えや残っていたハーブを増やして育成、落葉樹の清掃等に取り組みました。以前はこども達のスケートボードで花が折られたり、犬の散歩のフンの被害もありましたが、ずいぶん少なくなりました。今年3月迄は、公園の工事があり活動は一時ストップしていますが、水道の配置や浅い花壇にレンガを1段重ねてもらおう要望が叶いそうです。身近に花のある花壇造りを目指し、活動再開が目前です。  
(関 和子)



## 生まれも育ちも川崎です。“川崎に自生するサクラ”でお花見!!

川崎市内に古くから野生状態で見られるサクラは3種類とされています。幸区の一部に残るオオシマザクラ、中原区から北の丘陵部に多いヤマザクラ、麻生区黒川にわずかに残り絶滅が危惧されるヤブザクラ(マメザクラの一種)。今回はこの中から、お花見のできる2ヶ所を紹介します。

### No. 35 夢見ヶ崎動物公園の大島桜(オオシマザクラ)

ここは夢見ヶ崎動物公園の慰霊塔付近、昔から『加瀬山』と呼ばれている場所です。



この山には沿海性のオオシマザクラが見られます。公園に植栽されたソメイヨシノに負けじと、フェンス越しにけなげに育つ姿には“いじらしさ”さえ感じます。周囲のピンクの花はソメイヨシノです。

#### 夢見ヶ崎公園

住所 幸区南加瀬 1-2-1  
交通案内 JR横須賀線「新川崎駅」より 徒歩15分



### No. 36 新百合ヶ丘の山桜(ヤマザクラ)



新百合ヶ丘駅からも見える丘の上の「万福寺ふるさと緑地」にあるヤマザクラ。

昔から、ヤマザクラは農作業をする時期の目安にもなっていたそうです。市内の各所にはまだまだたくさんの野生状態のヤマザクラがあります。

新葉の色も濃い紅色から淡い赤緑色のものまで個性が様々です。この緑地だけでも一本一本の咲く時期、花色、葉色が微妙に異なります。そのほとんどが単一のソメイヨシノとぜひ比べてみてください。

#### 万福寺ふるさと緑地

住所 麻生区万福寺 6-6-1  
交通案内 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より 徒歩4分

\*このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。\*

あなたのご近所の地名の由来にもなった銘木や巨樹、珍しい花が咲く木、変わった風景の木、調べてほしい不思議な木等々の情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介します。・・・執筆いただいている木珠(こだま)氏がこのコーナーのホームページを作りました。《<http://hitotokinoharuka.web.fc2.com>》「川崎のツリーウォッチング」で検索してみてください。